

# 2023年度 安全教育計画書

(2023年4月期～2024年3月期)

ニュー飛騨観光バス(株)富山営業所

	4月期	5月期	6月期
安全教育計画項目 (予定)	(1)事業用自動車を運転する場合の心構え  (2)運転者の運転適性に応じた安全運転 (適正診断結果に基づく個別指導)  (3)2023年度安全に関する個人目標の設定	(1)事業用自動車の運行の安全及び旅客の安全を確保するために遵守すべき基本的事項  (2)ドライブレコーダー記録を活用したヒヤリ・ハットの情報共有	(1)異常気象時における対処方法  (2)非常用信号用具、非常口、消火器等の取扱いについて(非常時対応について)  (3)健康管理の重要性 (脳疾患、心疾患等、日常の健康管理について)
月間安全目標 (コンセプト)	<b>イライラ運転、漫然運転の禁止</b>  こころの乱れは運転に現れます。運転でイライラした時は、一呼吸おいて深呼吸して見ましょう。もちろん漫然とした運転にも注意しましょう。	<b>「安全運行」は、健康管理の徹底と良い睡眠から。</b>  安全な運行は、ふだんからの健康管理と質の良い睡眠で得られます。自身の健康に関心を持ち、気持ちのよい目覚めが得られる睡眠について考えてみましょう。	<b>「急ぐ運転」そんなに時間は変わりません。</b>  先を急ぐ運転はリスクを伴います。また、所要時間に大きな差が出る訳ではありません。法定速度を守り、落ち着いた運転を行いましょう。
教育実施項目と研修のねらい (研修資料その他詳細については別紙教育録を参照の事)	○バス事業の公共性と社会的使命を理解し、プロドライバーとして他の模範となる運転をするために必要な心構えについて学習します。  ○自動車事故対策機構実施の「適正診断」等の結果に基づく個別指導を実施します。  ○2023年度安全に関する個人目標(重点的に取り組む事柄)を設定します。	○日常点検の重要性と実施項目の理解。また、点呼の重要性と正しい点呼の実施方法について学習します。  ○ヒヤリ・ハット情報を分析、その防止策を考える事によって、情報の共有、危険に対しての認識を高める事を目的とします。	○「ゲリラ豪雨」を始めとする異常気象時における「乗客と自身の安全確保」について学習します。  ○実技を通じて、非常用信号用具・非常口・消火器等の取扱いに習熟する事で、緊急時でも適切な対応が取れる事を目的とします。  ○運転に悪影響を及ぼす生活習慣病の危険性を知り、「健康診断結果」を生活習慣の改善に活かす事を目的とします。
外部研修			
指導担当者	(所長/統括安全責任者)	(所長/統括安全責任者) (整備管理者):日常点検担当	(所長/統括安全責任者)
その他	・新入学(園)期における交通事故防止	・春の全国交通安全運動 ゆずりあう 心でひろがる 無事故の輪 (令和5年5月11日～5月20日) ・自転車安全利用の推進重点月間(5月)	・不正改造車排除する強化月間 (令和5年6月1日～6月30日) ・「たっしゃけ 気つけらエ」運動の推進重点月間
国土交通省指導・監督の指針	① ⑧	② ②(貸切バス事業者の指導・監督の指針)	⑩

※業務上都合により、研修の予定が変更となる場合があります。  
 安全教育計画項目(予定)の緑色文字表示は、貸切バス事業者の指導・監督の指針です。

# 2023年度 安全教育計画書

(2023年4月期～2024年3月期)

ニュー飛騨観光バス(株)富山営業所

	7月期	8月期	9月期
安全教育計画項目 (予定)	(1)事業用自動車の構造上の特性 (2)運転者の運転適性に応じた安全運転 <small>(適正診断結果に基づく個別指導)</small> (3)ドライブレコーダーの記録を利用した、 <b>運転者の運転特性に応じた安全運転の方法</b>	(1)交通事故に関わる運転者の生理的及び 心理的要因並びにこれらへの対処方法 (2)危険の予測と回避並びに緊急時におけ る対応方法	(1)主として運行する路線若しくは経路又は 営業区域における道路及び交通に状況 (2)ドライブレコーダー記録を活用した <b>ヒヤリ・ハットの情報共有</b>
月間目標 (コンセプト)	<b>「安全運転」は、確実な車間距離の            確保から！</b> 適切な車間距離を取らない運転は、追突などの リスクがあります。また「あおり運転」にもつな がりかねない運転です。確実に停止できる車間 距離をとった運転をしましょう。	<b>日々の健康管理            ベストで運転しよう！</b> ベストの体調で運転する事はプロドライバーの 義務です。ふだんから健康管理に努め、最良の 体調で運転業務に従事しましょう。	<b>制限速度の遵守とクルマの流れに            沿った運転の実施</b> 運転は、制限速度の遵守と同時に、状況に応じ て他のクルマの流れに沿った運転も事故防止 には必要となります。
教育実施項目と研 修のねらい  (研修資料その他詳細 については別紙教育 録を参照の事)	○大型車の死角が原因で発生した事故例を 検証し、大型車の特性を理解した運転の大切 さの理解します。 ○適性診断のデータを分析し、各運転者が自 身の運転傾向(運転のくせ等)を客観的に知 り、より安全な運転を目指します。 ○ドライブレコーダーデータにより、自身の 運転特性を知り、自らが安全な運転について 考え、実践する事を目的とします。	○今回の研修では、「過労運転」について実 施します。過労が運転に及ぼす影響を理解 し、その防止策について考えます。 ○見えない危険を予測し、事故を未然に防ご う事を目的とします。危険の捉え方には個人差 もあるため、グループワーク形式で討議する 事で他者の意見を聞き、危険に対する視野・ 感受性を広げる事を目的とします。	○当営業所で報告を受けた「ヒヤリ・ハット」 情報を振り返り、その情報を共有する事で安 全運転に対する意識を高める事を目的とし ます。危険・要注意ポイントのハザードマップ 作製も行います。 ○ヒヤリハット体験の情報をすべて運転者に 提供し、その危険は何が原因で、どうすれば 防ごう事ができたかを考える事で、より安全な 運転につなげる事を目的とします。
外部研修			
指導担当者	(所長/統括安全責任者) (整備管理者)(1)担当	(所長/統括安全責任者)	(所長/統括安全責任者)
その他	・夏の交通安全県民運動 「さわやかに夏を走ろう 北陸時」 (令和5年7月11日～7月20日) ・飲酒運転の根絶重点月間	防災週間(令和5年8月30日～9月5日)	秋の全国交通安全運動 (令和5年9月21日～9月30日) 第60回富山県交通安全県民大会 (令和5年9月4日)
国土交通省指導・監督の指針	③ ⑧ ①(貸切バス事業者の指導・監督の指針)	⑦ ⑨	⑥ ②(貸切バス事業者の指導・監督の指針)

安全教育計画項目(予定)の緑色文字表示は、貸切バス事業者の指導・監督の指針

# 2023年度 安全教育計画書

(2023年10月期～2023年12月期)

ニュー飛騨観光バス(株)富山営業所

	10月期	11月期	12月期
安全教育計画項目 (予定)	<p>(1)安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法</p> <p>(2)ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転</p>	<p>(1)旅客が乗降する時の安全を確保するために留意すべき事項</p> <p>(2)確実なタイヤチェーン装着技術の習得</p> <p>※(2)については実習の予定あり。</p>	<p>(1)主として運行する路線若しくは経路若しくは経路または営業区域における道路及び交通の状況</p> <p>(2)非常用信号用具、非常口、消火器等の取扱いについて</p> <p>(3)ドライブレコーダー記録を活用したヒヤリ・ハットの情報共有</p>
月間目標 (コンセプト)	<p><b>歩行者に優しい運転を！</b></p>	<p><b>睡眠不足にならない生活習慣をつくろう！</b></p>	<p><b>ゆずり合う 余裕の運転 事故なくす！</b></p>
教育実施項目と研修のねらい (研修資料その他詳細については別紙教育録を参照の事)	<p>○当該装置への過度の期待が交通事故の要因となり得る事を理解し、正しい機能と使用方法を理解する事で、より安全な運転を目指します。</p> <p>○ドライブレコーダーのデータより自身の運転特性を知り、それに応じた安全な運転を実践する事を目的とします。</p>	<p>○乗降時に多い事故例を元に、事故原因の分析と防止策を考え、安全な乗降を行なう事を目指します。</p> <p>○実際のバス車両を使用して、必要な時に速やかで確実なタイヤチェーンの装着が出来る技能の習得を目的とします。</p>	<p>○よく利用する道路の、冬場の隠れた危険性を考えると共に、雪道の特性を理解し、安全な運転のために必要とされる知識・技能の習得を目的とします。(ハザードマップ作製あり)</p> <p>○実技を通じて、非常用信号用具・非常口・消火器等の取扱い方法を学習し、その取扱いに習熟する事で、緊急時でも冷静かつ適切な対応・処置が出来る事を目的とします。</p> <p>○ヒヤリハット体験の情報を共有し、原因の分析とその再発防止策を考える事で、より安全な運転を目指します。</p>
外部研修			
指導担当者	(所長/統括安全責任者)	(所長/統括安全責任者)	(所長/統括安全責任者)
その他	・「たっしゃけ 気づけられエ」運動の推進重点月間	・3UP運動の推進重点月間 ・世界津波の日 (令和5年11月5日)	・年末の交通安全県民運動 (令和5年12月11日～12月20日) ・飲酒運転の根絶重点月間
国土交通省指導・監督の指針	⑪ ①(貸切バス事業者の指導・監督の指針)	⑤	⑥ ②(貸切バス事業者の指導・監督の指針)

安全教育計画項目(予定)の緑色文字表示は、貸切バス事業者の指導・監督の指針

# 2023年度 安全教育計画書

(2024年1月期～2024年3月期)

ニュー飛騨観光バス(株)富山営業所

	1月期	2月期	3月期
安全教育計画項目 (予定)	<p>(1)事業用自動車の構造上の特性</p> <p>(2)安全性の向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法</p>	<p>(1)乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項</p> <p>(2)上記項目について実際の車両を使っての体験学習</p>	<p>(1)ドライブレコーダーの記録を利用した運転者の運転特性に応じた安全運転</p> <p>(2)ドライブレコーダー記録を活用したヒヤリ・ハットの情報共有</p> <p>(3)健康管理の重要性 (目の視野について)</p>
月間目標 (コンセプト)	<p><b>ゆっくり休息 余裕の運転。</b></p> <p>仕事が終わったら、ゆっくり休む！それが次の日の活力を生み出し、運転にも余裕が出ます。ゆっくり休んで英気を養いましょう。</p>	<p><b>雪道、危険予測運転の実施</b></p> <p>さまざまな顔を見せる雪道。どんな危険が潜んでいるかわかりません。常に危険を予測した運転を行いましょう。</p>	<p><b>歩行者・他車に優しい思いやり運転。</b></p> <p>自分さえよければそれでいい！そんな自己中心の運転は事故の元です。常に思いやりを持った運転。それが事故防止につながり、好感の持たれる運転です。</p>
教育実施項目と研修のねらい (研修資料その他詳細については別紙教育を参照の事)	<p>○大型バス特有の車高、視野、死角、内輪差などの特性を理解し、その特性に応じた安全な運転方法の習得を目的とします。</p> <p>○当該装置の機能への過信及び誤った使用方法が事故原因となり得る事を理解し、正しい使用法により、安全な運転が出来る事を目的とします。</p>	<p>○今回はバスの性能から見た安全確保について考えてみます。バスの動力性能及び制動性能、走行中のバス車体に及ぼす遠心力の影響などを理解する事により、乗客にとって快適な運転を目指します。</p> <p>○運転者本人が乗客の立場であったらどう感じるか？実際の車両を使っての急ブレーキ体験、やや高速でのカーブ通過時の遠心力の体験をする事により、乗客にとって快適な運転とは何かを考えます。(コースや走行条件は予め設定します。)</p>	<p>○ドライブレコーダーのデータにより、自身の運転特性を知り、それに応じた安全な運転を考えます。</p> <p>○ヒヤリハット情報を共有し、原因の究明、予防対策を考える事で、さまざまな場面で安全な運転を実践できる事を目的とします。</p> <p>○運転に大切な役割を持つ目の疾患と運転の関連について解説します。</p> <p>○2023年度の振り返り、反省点と改善点について考えます。</p>
外部研修			
指導担当者	(所長/統括安全責任者) (整備管理者)	(所長/統括安全責任者)	(所長/統括安全責任者)
その他		(2)については実習(事前にコースや走行条件を設定します。)を予定しています。	<p>・3UP運動推進重点月間</p> <p>・「リスク管理をあらためて再確認」</p> <p>・富山県原子力防災訓練</p> <p>・「車両火災予防運動」</p>
国土交通省指導・監督の指針	③ ⑪	④	①②(ともに貸切バス事業者の指導・監督の指針)⑩

安全教育計画項目(予定)の緑色文字表示は、貸切バス事業者の指導・監督の指針